

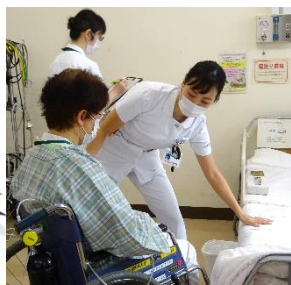


# オスキー研修 ～目指せ！看護実践力アップ～



研修者64名を対象に、オスキー研修を実施しました。模擬患者を設定し、事例をもとに「移動・移乗・移送」「酸素療法」「口鼻腔吸引」を実践しました。患者さんの状態・反応に合わせて複数の看護技術の手順を確認できたことに加え、患者さんとのコミュニケーションについても学ぶことができました。部署で経験する機会の多い技術について自己の到達度を振り返り、安全・安楽な看護技術の実践に活かせることを期待しています。

車椅子からベッドへの移乗では、患者にベッド柵を掴むように促したり、酸素チューブが引っ掛からないように長さや位置を確認するなど、患者の安全に配慮して関わっていました。



体調を気遣った声掛けや患者へのわかりやすい説明を意識していました。寝具を調整したり履物の位置を整えるなど、環境整備にも配慮していました。



吸引の必要性を判断し、患者の苦痛を最小限にできるよう、準備から実施まで素早く、効果的な吸引ができていました。



酸素ボンベの使用後は、元栓を閉め圧力計の目盛が0になる所まで確認しました。適切な管理を改めて確認しました。

研修では、口鼻腔吸引時フェイスシールドマスクの代替として紙で作成した手作りマスクを使用しました。



演習終了後は振り返りを行いました。「緊張してしまうようにできなかった」といった感想も聞かれていましたが、できていた点や改善点はどこか自ら振り返ることができていました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。  
看護職キャリア支援 教育担当